

# 日刊 産業新聞

## Japan Metal Bulletin

2005年(平成17年)

# 2 / 4

金曜日 FRI

第16228号

**発行所 産業新聞社**  
 東京本社 東京都中央区日本橋室町二丁目4番2号(共同ビル) 電話03(3241)2379  
 企画編集局(広 告) FAX03(3241)4577  
 総務販売局(購読・配達) 電話03(3241)2378 FAX03(3241)6884  
 大阪本社 大阪市西区靱本町一丁目5番15号(第二富士ビル) 電話06(6443)8551  
 FAX06(6443)3828

◎産業新聞社二〇〇五年

### 三菱マテリアル

## 航空宇宙部品素材 日本で初

# ナドキャップの認証を取得

三菱マテリアルは3日、高性能材料事業部の桶川製作所(埼玉県)が、ナドキャップ(Nadcap)国際特殊工程相互認証制度の非破壊検査と熱処理の認定を取得したと発表した。日本の航空宇宙部品素材メーカーとして初めてのこと。同社は2004年11月にナドキャップの審査を受けたが、約1カ月半という短期間で認証を取得、同社の特殊工程管理が国際水準にあることが実証された。

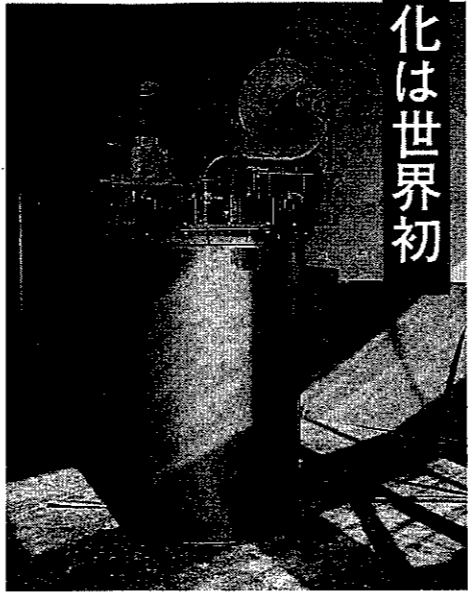
ナドキャップは、90年に米国P.R.I.(パフオーマンス・レビュー・インスティテュート)で、特殊工程審査・認証の国際的な標準化や共有化をねらって開発された、航空宇宙産業に係わる特殊工程管理の認証システム。最近ではボーイングやエアバス、ロールスロイス、GEエアクラフトエンジン、プラット&ホイットニーなどの欧米の航空機機体やエンジンメーカーがナドキャップを採用。部品や材料を供給するメーカーにもナドキャップの認証取得を義務付ける動きがある。

日本では02年8月に、日本航空宇宙工業会の航空宇宙品質センタリー内にワークグループが設置され、日本国内での認証制度の展開を準備している。

高性能材料事業部は、25年前にF15ジェット戦闘機用エンジン

## 永久磁石式マグネットを受注

### チーマグ 上海シグマから8基



永久磁石式マグネットスターラー

千葉県葛飾郡、高橋謙三社長は、台湾二次合金メーカーのシグマ社子会社である上海シグマ(上海市、黄浦区)から、非鉄金属溶湯攪拌用の「永久磁石式マグネットスターラー」を8基受注した。永久磁石タイプの実用化は世界初。金属組織の均一化を図る機械で、これまでの電磁石式と比べ低価格、メンテナンスフリーを実現する。本年度は日本国内で最低10基、急成長する中国で50基以上の受注をめぐす。

アルミ、銅、真ちゅうなどの非鉄金属は、溶湯時に金属組織の均一化を図るため、電磁石を使って渦電流を発生させその力で攪拌している。ただ、1基当たり1億円以上と高額なことや、1時間当たり400キロワットの消費電力がかかるのが課題。永久磁石を使ったスターラーはコスト増要因となっていた。

シグマは、2005年の半導体用シリコンの見通しを説明した。

## 05年の需要伸び率鈍化

「ことしの高純度シリコン単結晶の販売は過去最高の7000トンを突破するが、伸び率はプラス5%に鈍化するだろう。新金属協会シリコン部会の時本忠部会長(コマツ電子金属取締役専務執行役員)は2日、東京・一ツ橋の学士会館で会見し、2005年の半導体用シリコンの見通しを説明した。

シリコン単結晶は、内需が前年比4%増の3420トン、輸出が同6%増の3670トンと、合計

## 国内上回り輸出51%へ

昨年6-7月のピーク時と比較すると約15%落ち込んでいるという。需要の回復時期については不透明感が強いが、「景気循環に關係なくウエハーの世代交代が進んでいる」(時本部会長)。これは太陽電池用の需要もおお盛で、ひつ

力は設備増強分も含めて7500トンある。04年末の国内在庫も3600トンと6カ月程度の在庫水準を確保しているため「供給責任は果たせる」(トクヤマ)。

04年の単結晶シリコンの販売は前年比31%増の6751トンと、ピークだった00年の水準を大幅に上回った。多結晶の国内生産は同22%増の6

**スクラップ 亜鉛 現金買入**  
 カーサイト(金型)・丹入コロ・ドライ粉・その他  
 各種亜鉛再生塊製造販売

**株式会社 市川金属**  
 本社 岐阜県各務原市瑞穂朝日町1-33 TEL.0583(70)4655(代)  
 東京営業所 神奈川県厚木市金田391-1 TEL.046(294)3700(代)

### 三井物産非鉄販売



三井物産非鉄販売(東京都中央区、中西英一社長)は、佐渡島金属(大阪市中央区、山本幸男社長)を今年3月末で100%子会社化することを受け、グループのシナジー効果を一層追求する方針だ。

佐渡島金属はこれまで、三井物産を親会社(51%出資)に物産グループの一員として

の国内産に、素材メーカーの立場として参加。その後は民需への進出を含む国内の重工業各社の航空機事業拡大に合わせ、航空機素材としてのスーパーアロイ(耐熱・耐食合金)を供給している。航空機分野以外にも化学プラントなどに使うスーパーアロイもラインアップしている。

同社は航空宇宙部品

### 業績予想

連・単とも 上方修正  
 トヨタ二電線は2日、05年3月期通期業績予想を連結・単独とも上方修正した。

下半期に入って光通信機器製品の需要が急増したこと、また、操業アップによって原価率が低減したことにより、第4四半期も第3四半期並みの売上高およびコスト削減効果が見込めるため。

詳細は以下の通り(単位:100万円、千万円未満は省略)